

意思決定を支援するための 情報収集と記録

ー 本人の価値観を尊重し、 支援者の気づきを高める ー

なぜ情報収集と記録をするか

2

- 一般的には、（本人ならびに支援環境とその相互作用の）評価を行い、組織内・組織外との連携を図る根拠資料とする。その意味で、支援付き意思決定であれ、本人の意思と選好に基づく最善の解釈であれ、情報収集と記録は重要な活動。
- 独りよがりではない、プロセスを重視した支援を行うためにも有用。
- 成年後見の職務における「本人情報シート」活用
- ただし、ここでは特に、「意思と選好に基づく最善の解釈」を行うために必要な選好情報に焦点を当てる。

選好を重視した情報の収集・共有・蓄積・更新の例 Scope Australiaの方法

3

「意思決定支援を使いながら生活する人々
“微かに聞こえる声を聴く”」

People leading lives they prefer
through supported decision making
“Listening to those rarely heard”

Scope (Watson &
Joseph) 2011



非意図的なメッセー
ジ（情報）を含む

(写真は日本の方にご許可を
いただいて掲載しています)



意思決定支援の枠組み

Scope (Watson & Joseph) 2011



Scope Australia (Watson & Joseph)による 意思決定支援の枠組み

5

- ともに決定事項を定める
 - ▣ すべき決定事項があるか、それは何か
 - ▣ 誰にとって重要な決定か、なぜか
- ともに声を聴く；情報収集する
 - ▣ 意思と選好を丁寧に収集する
 - ▣ 密度の濃いやり取りを重ねて情報を集める
 - ▣ 本人をよく知る人の声も聞く
- ともに決定のための選択肢を探す
 - ▣ 本人の選好を参考に、考えられる選択肢を複数あげる
- ともに各選択肢に対する本人の反応を記録する
 - ▣ 各選択肢を試す、場所へ行く、本人の反応を記録し、複数名で検討する
 - ▣ 決定の事後についても記録していくことが重要
- ともに決定し行動する
 - ▣ 本人のために(for～)ではなく、本人にとって(to～)何が大切なのかを考える

意思と選好（プレファレンス）情報の 収集・共有・蓄積・更新

6

- みんなで選好の**収集**を続ける。非意図的なメッセージや行動もよく観察し、発生や繰り返しの頻度、反応などを勘案。
- 得られた情報を**共有**、協議して、独り善がりの判断を回避する。また多くの支援者がその選好に気づけるようにし、感度を高める。
- 絶えず**蓄積**し、整理する。
- 選好は変わり続けるので、以前と異なることが共有されたら**更新**する。

意思と選好（プレファレンス）情報の 収集・共有・蓄積・更新

7

- 「最善の解釈」を行うための基礎資料を集める
- 「意思決定支援」のプロセスを共有・確立し、独りよがりの「解釈」を排する
- 本人意思に対する、支援者の気づき(感度)を高める
- 本人の持つ「価値観」への気づきと尊重を高める
 - 価値観の尊重はソーシャルワークの基盤であり、価値観は選好を反映し形成される。

いつ、どのように行うか？

8

- 主として、「エンパワメントの相」で継続的に行われる
 - ▣ 「レスキューの相」でも活用される
- 打ち合わせなどの機会を利用して、また日報などの活用
 - ▣ 「選好」に関わる活動や発言があったか？
- 具体的に、明確に、客観と主観を整理して
- 安全性（リスク）と幸せ（幸福度、ハピネス）の観点から総合的に判断する。

グループワーク①

9

「～さんの好きなこと・嫌いなこと」（資料 a 使用）

- 1 人の人を思い浮かべる（家族、友人など）
 - よく知っている人が望ましい、或いは自分自身でも
- その人の好きなこと（もの）や、嫌いなこと（もの）を、それぞれ 3 つあげてみましょう。案外難しい？
- あげた中で、最も好きなことは何だろう？ 最も嫌いなことはなんだろう？
- 利用者さんについても同じように考えてみましょう

- 本人の選好や価値観を**収集・蓄積・共有・更新**することは、支援付き意思決定の場面でも意思推定（最善の解釈）や主観的最善の利益に基づく代理代行決定の場面においても、支援者の独りよがりの判断とならないために重要である。
- 本人の選好や価値観の収集等のためには、支援者の**日々の気づきと記録化のためのスキル**が求められる。
- 本人の「**微かに聞こえる声を聞く**」ことにより、本人の**自己効力感**を高めつつ、支援者自身の変化にも繋げることが重要。

グループワーク②

11

- かおるさんのパーソナルコミュニケーション辞書づくり
- 資料bを出してください。
- かおるさんは、知的な障害があり、言葉でコミュニケーションすることが難しいです。
- そのため、かおるさんの日常生活を記録し、意思と選好の最善の解釈に役立てることが必要です。
- 次の動画をみて、かおるさんのパーソナルコミュニケーション辞書をつくってみましょう。

パーソナルコミュニケーション辞典 (SCOPE「サポーターのためのガイド」を一部改変)

月 日 時間	① かおるさんが何をしたか	② これが意味するであろうことは何か	③ あなたは何をするべきか	④ ③をした結果
(例)	かおるさんが昼食を食べる介助をうけている間、口をしっかりと閉め、歯ぎしりする。	1.私が彼女に食べさせた物の味が好きでない。 2.すでにおなか一杯食べた。 3.居心地が悪い。	1.かおるさんに何か他の食べ物や飲み物を提供する。 2.椅子の位置をチェックして、かおるさんが居心地悪いかどうかを確認する。	

動画1 飲み物の選択の場面(1)

支援記録の例

15

- かおるさんは、飲み物はコーラを選びました。

パーソナルコミュニケーション辞典 (SCOPE「サポーターのためのガイド」を一部改変)

月 日 時間	① かおるさんが何をしたか	② これが意味するであろうことは何か	③ あなたは何をするべきか	④ ③をした結果
(例)	かおるさんが昼食を食べる介助をうけている間、口をしっかりと閉め、歯ぎしりする。	1.私が彼女に食べさせた物の味が好きでない。 2.すでにおなか一杯食べた。 3.居心地が悪い。	1.かおるさんに何か他の食べ物や飲み物を提供する。 2.椅子の位置をチェックして、かおるさんが居心地悪いかどうかを確認する。	

動画2 飲み物の選択の場面(2)

パーソナルコミュニケーション辞典 (SCOPE「サポーターのためのガイド」を一部改変)

月 日 時間	① かおるさんが何をしたか	② これが意味するであろうことは何か	③ あなたは何をするべきか	④ ③をした結果
(例)	かおるさんが昼食を食べる介助をうけている間、口をしっかりと閉め、歯ぎしりする。	1.私が彼女に食べさせた物の味が好きでない。 2.すでにおなか一杯食べた。 3.居心地が悪い。	1.かおるさんに何か他の食べ物や飲み物を提供する。 2.椅子の位置をチェックして、かおるさんが居心地悪いかどうかを確認する。	

動画3 服の選択の場面(1)

支援記録の例

22

- かおるさんは、猫のTシャツを選びました。

パーソナルコミュニケーション辞典 (SCOPE「サポーターのためのガイド」を一部改変)

月 日 時間	① かおるさんが何をしたか	② これが意味するであろうことは何か	③ あなたは何をするべきか	④ ③をした結果
(例)	かおるさんが昼食を食べる介助をうけている間、口をしっかりと閉め、歯ぎしりする。	1.私が彼女に食べさせた物の味が好きでない。 2.すでにおなか一杯食べた。 3.居心地が悪い。	1.かおるさんに何か他の食べ物や飲み物を提供する。 2.椅子の位置をチェックして、かおるさんが居心地悪いかどうかを確認する。	

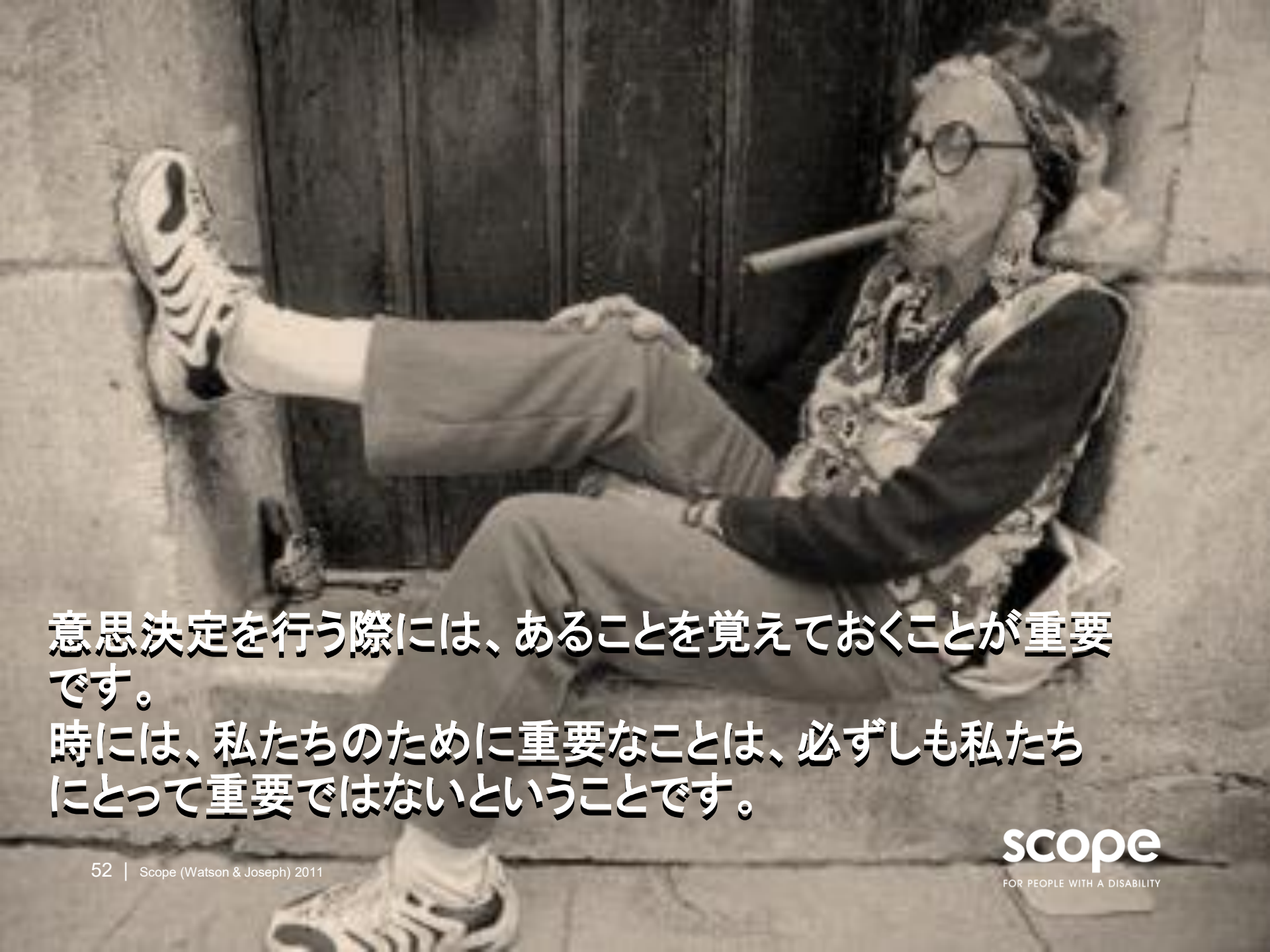
動画4 服の選択の場面(2)

パーソナルコミュニケーション辞典 (SCOPE「サポーターのためのガイド」を一部改変)

月 日 時間	① かおるさんが何をしたか	② これが意味するであろうことは何か	③ あなたは何をするべきか	④ ③をした結果
(例)	かおるさんが昼食を食べる介助をうけている間、口をしっかりと閉め、歯ぎしりする。	1.私が彼女に食べさせた物の味が好きでない。 2.すでにおなか一杯食べた。 3.居心地が悪い。	1.かおるさんに何か他の食べ物や飲み物を提供する。 2.椅子の位置をチェックして、かおるさんが居心地悪いかどうかを確認する。	

おわりに

障害福祉サービスの提供等に係る意思決定支援
ガイドライン研修



意思決定を行う際には、あることを覚えておくことが重要です。
時には、私たちのために重要なことは、必ずしも私たちにとって重要ではないということです。

**あなたも、あなたの支援を受けている人も、
一度限りの人生を生きている。**